

令和7年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）

パネルディスカッション

「効果的な多職種連携を目指すための相互理解について」

**八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会
（八高連：はちこうれん）**

陵北病院 田中裕之

令和8年1月23日 熊本城ホール

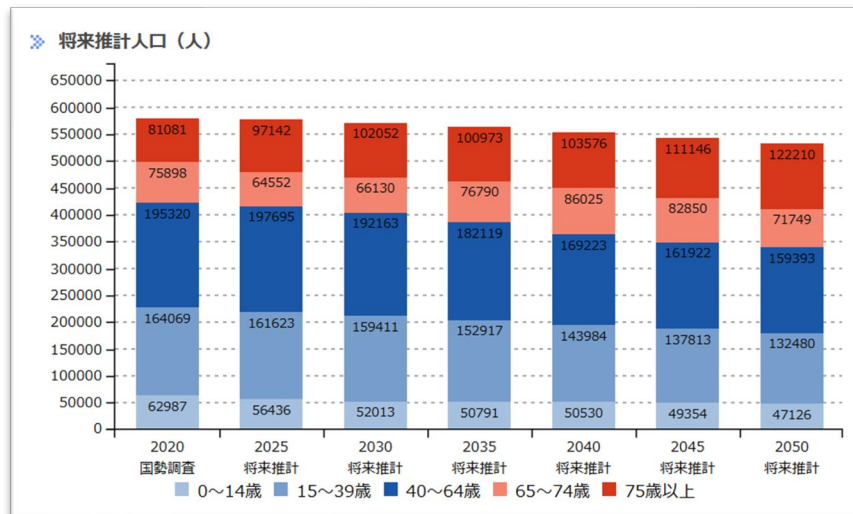
はじめに 市町村のご紹介



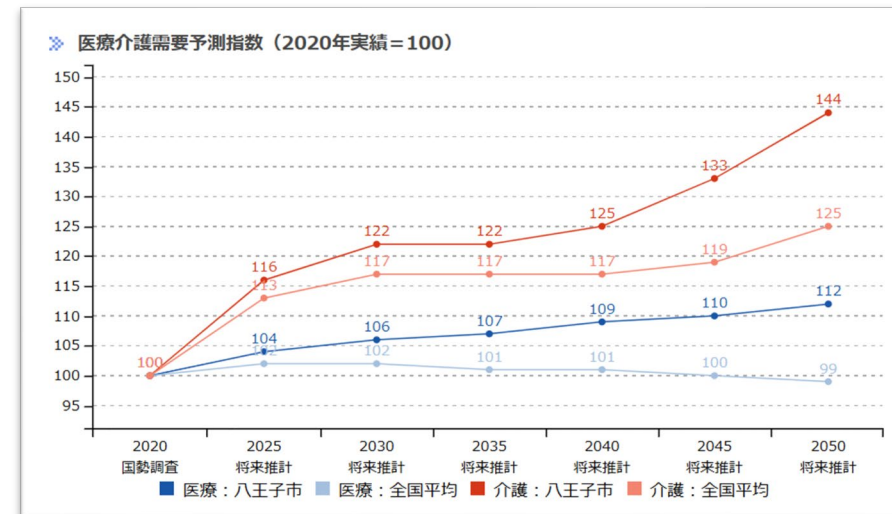
人口 561,344人

高齢化率 27.5% (全国 28.8%)

ベッドタウン・学園都市・森林面積46%



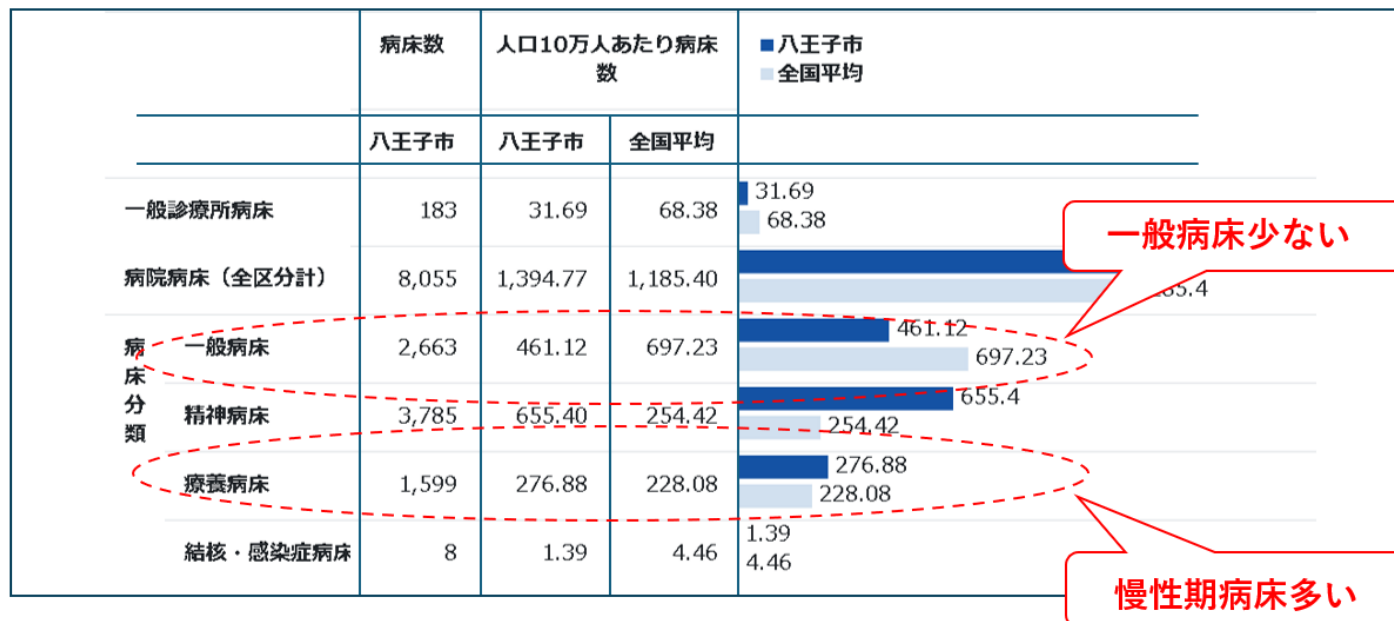
2050年に向けて、全体の人口は減少するが
75歳以上の人口は増え続ける



2050年に向けて、医療・介護の需要は
高まる予想

はじめに 市町村のご紹介

一般病床 全国平均の66%
療養病床 全国平均の120%
(人口あたり)



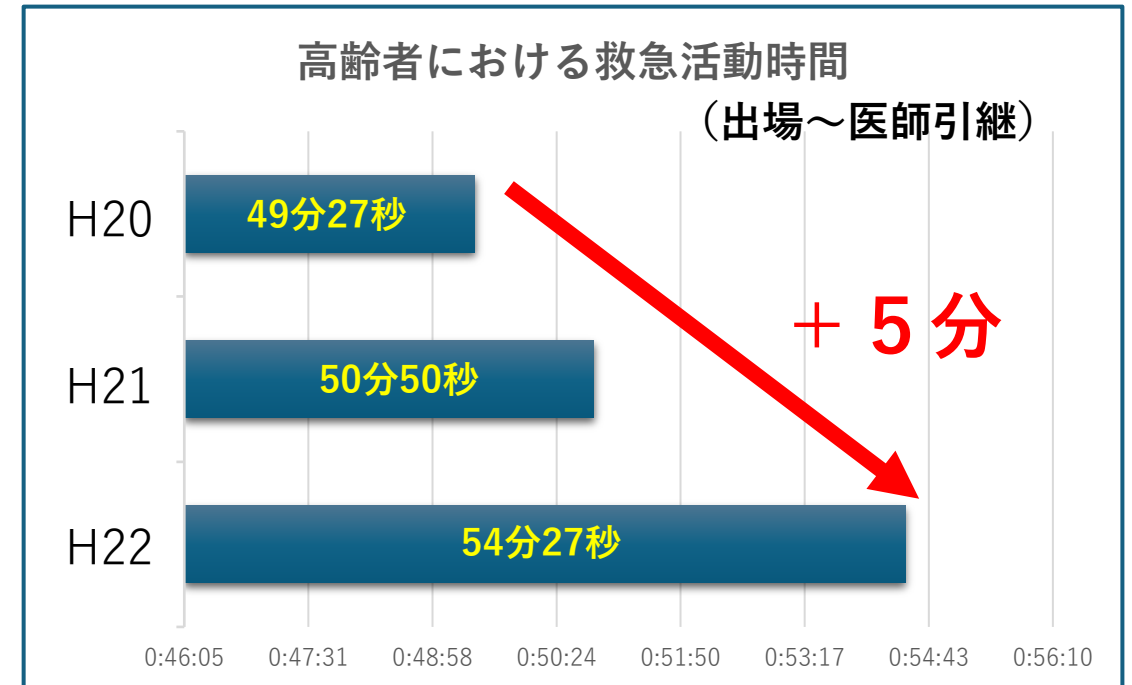
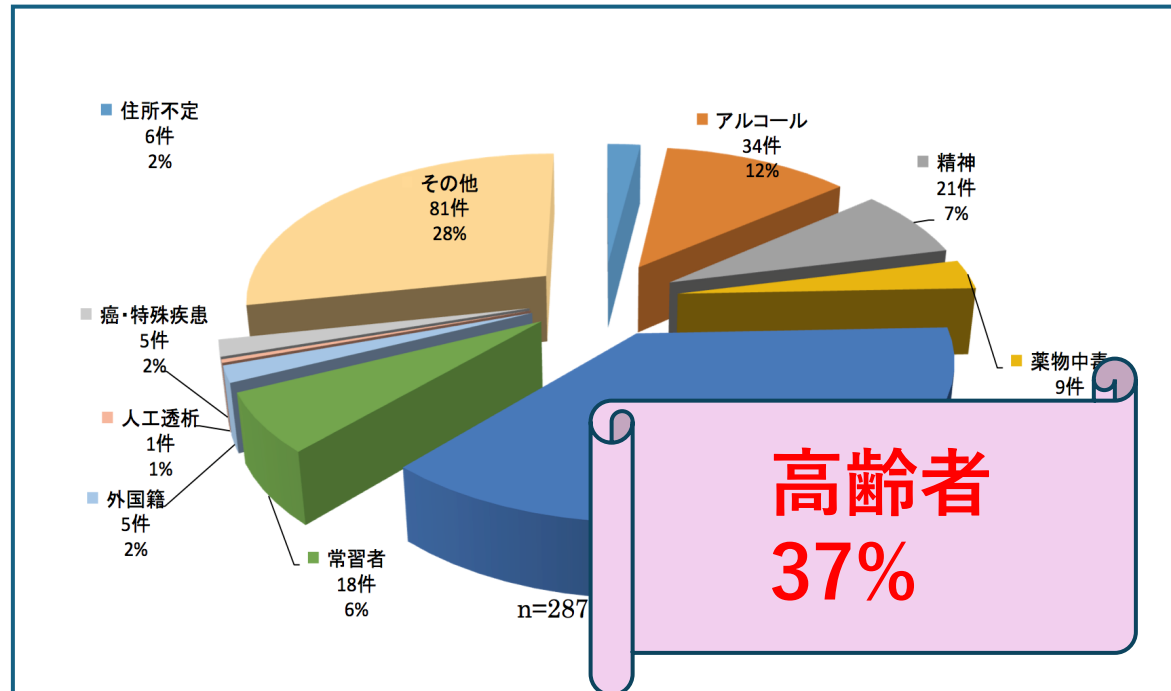
病床数 合計 7169床
急性期 1923床
回復期リハ 359床
地域包括ケア 269床
地域包括医療 118床
療養 1221床
障害 184床
緩和 25床
精神 3640床

1. 八高連に取り組んだ背景ときっかけ

平成21年 「消防法の一部を改正する法律」の公布 → 東京ルール

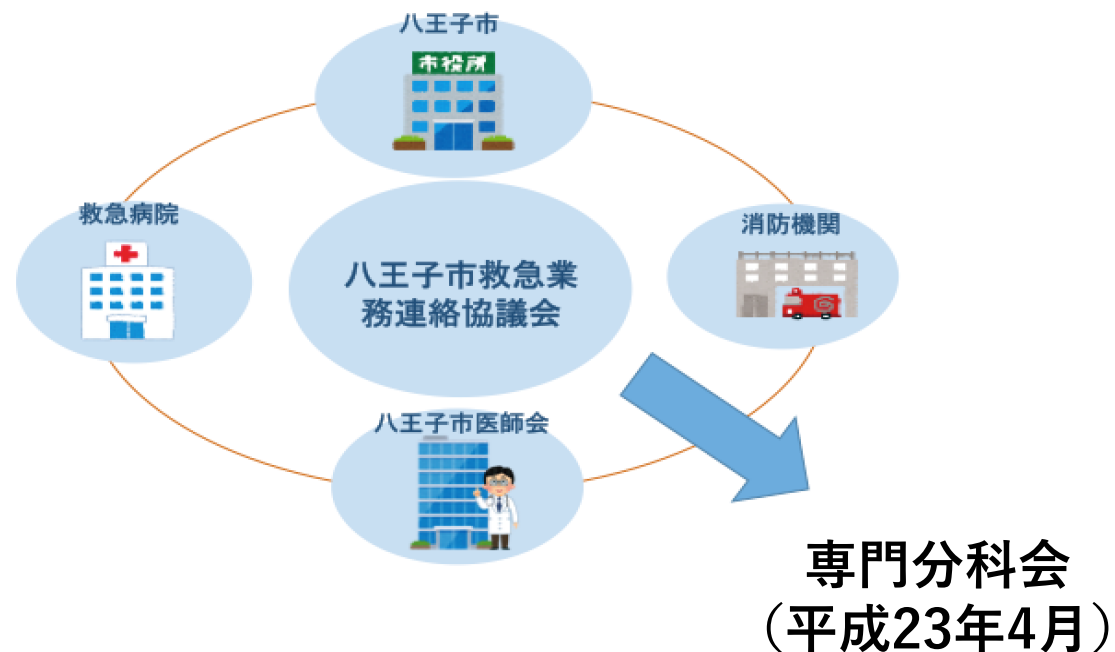
八王子消防署

平成21年8月31日～平成22年12月31日に発生した「医療機関選定困難事案」287例を分析



2. 八高連の設立趣意、会員

八王子市救急業務連絡協議会



目的

八王子市内の高齢傷病者の急性期医療の早期受け入れ態勢の確立、慢性期医療、介護施設等の連携強化を図り、病院選定困難事案を減少させ、八王子市内医療機関に収容すること

会員

- (1) 八王子市救急業務 連絡協議会
- (2) 救命救急センター・救急センター
- (3) 介護療養型 病院 (介護医療院)
- (4) 医療療養型 病院
- (5) 八王子 施設長会
- (6) 八王子 社会福祉法人代表者 会
- (7) 八王子 特定 施設連絡会
- (8) 精神科 病院
- (9) 八王子 介護支援専門員連絡協議会
- (10) 八王子 介護保険 サービス事業者連絡協議会
- (11) 八王子市 高齢者あんしん相談センター
- (12) 八王子市 医師会
- (13) 八王子市 町会自治会連合会
- (14) 八王子市
- (15) 八王子消防署
- (16) 八王子 老人保健 施設協議会
- (17) 八王子市 赤十字 奉仕団
- (18) 八王子市 民生委員児童委員協議会
- (19) 八王子市 社会福祉協議会
- (20) 八王子 薬剤師会

3. 取組概要、スケジュール

H23.4.7. 代表者会

H23.5.14. 総会・シンポジウム

第1分科会（入口問題） 開催
第2分科会（出口問題） 開催
慢性期病院代表者会議 開催

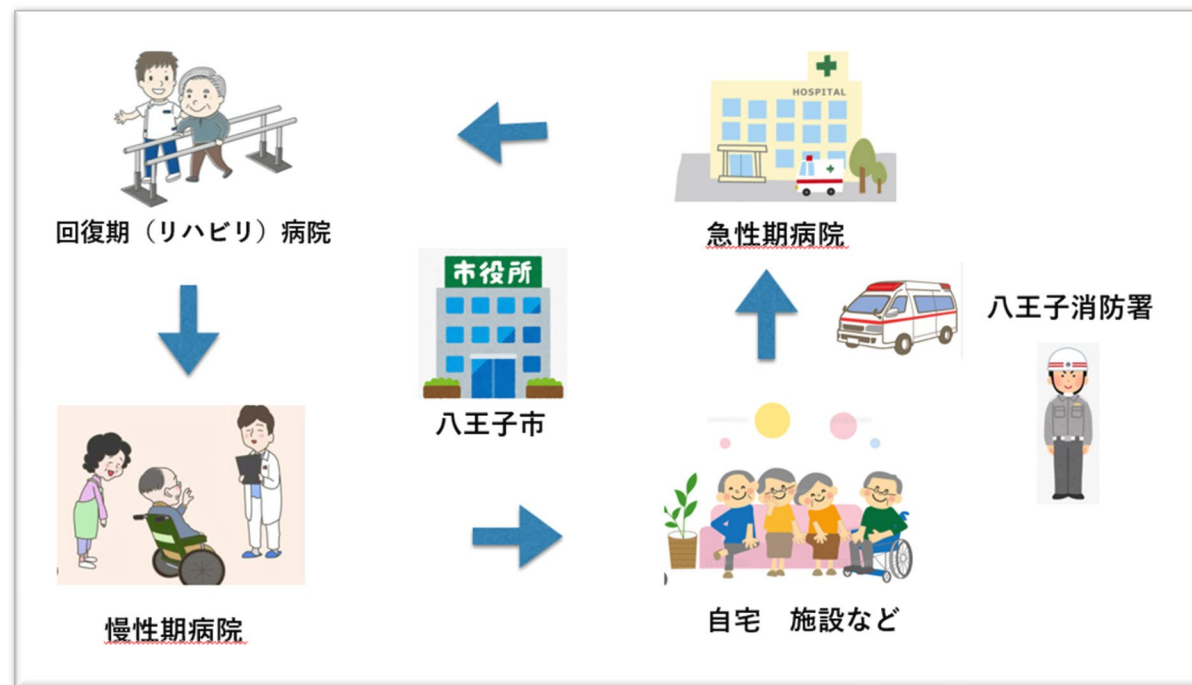
地域包括支援センター連絡会開催

H23.11.12 総会

H23.12.1～H24.2.29 試行実施、分析、検証

H24.3.17 総会

H24.4. 本行に移行



成果物の作成

現着～現発

－ 1 分 1 4 秒

病着～医師引継ぎ

－ 2 分 1 3 秒

4. 対応策の展開（成果物）

救急情報シート

～記入例～ 救急医療情報

(八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会)

住 所	八王子市 元本郷 町 三丁目 24番 1号		
ふりがな	はちおうじ ななめ	年齢	70歳
氏 名	八王子 七男	(平成24年 8月 10日現在)	
生年月日	明治・大正 昭和 17年 1月 1日		
性 別	男 ・ 女		
連絡先 電話番号	042- 626 - 3111(自宅) 090- ●●●● - ●●●●(妻の携帯)		

◇医療情報

現在治療中の病気	高血圧・糖尿病・心臓病・脳卒中・その他 (血圧(185/110))
過去に医師から 言われた病気	高脂血症
服用している薬	カルベジロール製剤 10mg フロアコール製剤 10mg
かかりつけの病院	病 院 名: 八王子消防病院 ※おおむね1年以内に受診歴のある病院 住 所: 八王子市・区 上野町33 電話番号:

もしもの時に医師に伝えたいことがある方は「□」の中にチェックして下さい

- ☐ できるだけ救命、延命をしてほしい
☐ 苦痛をやわらげる処置なら希望する
☐ なるべく自然な状態で見守ってほしい
☐ その他 ()

伝えたいことがある方は、該当するものを□に
か、その他の欄に希望することをご記入ください。
 なるべく自然な状態で見守ってほしい
 連絡がつきにくい場合は、電話番号をご記入ください。

◇緊急連絡先

氏 名	続柄	住所	電話番号
八王子 六男	子	八王子市●●●町1-1-1	080-1111-●●●●
日野 五子	子	日野市●●●町1-2-3	090-0000-●●●●
作成日	平成 24年 8月 10日	更新日①	平成 27年 4月 1日
更新日②	平成 年 月 日	更新日③	平成 年 月 日
更新日④	平成 年 月 日	更新日⑤	平成 年 月 日

◇高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）

名 称	電話番号
-----	------

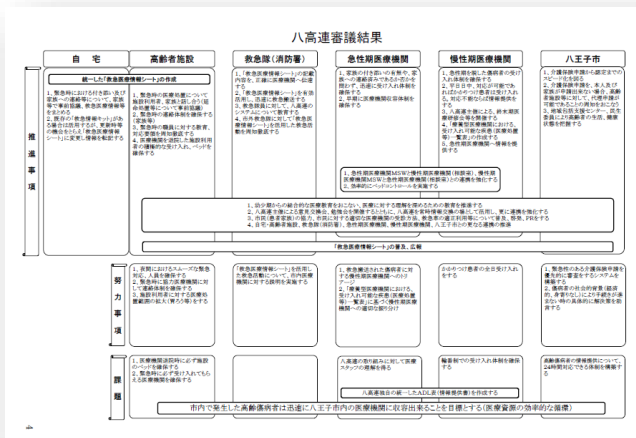
- ・ 1秒でも早く搬送するため
- ・ 救急病院の受け入れ時に必要な項目
- ・ 119番の前にまずかかりつけ医に連絡すること！

もしもの時に

- ☐ できるだけ救命、延命をして欲しい
- ☐ 苦痛をやわらげる処置なら希望する
- ☐ なるべく自然な状態で見守ってほしい
- ☐ その他 ()

4. 対応策の展開（成果物）

八高連審議結果



自宅

緊急時の家族の連絡先、付き添いについて話し合っておく
救急情報シートを作成、変更

高齢者施設

緊急時の医療処置（蘇生処置・延命処置）について事前協議
緊急時対応の職員教育
救急情報シートの作成、変更
退院時の積極的受け入れ

救急隊

救急情報シートの有効活用、迅速な搬送
市外救急隊へ八高連の取り組みの周知

急性期病院

家族の付き添いの有無、連絡の有無を問わず**迅速に受け入れる**
早期の収容体制を確保する

慢性期病院

急性期を脱した患者の**早期受け入れ**体制
平日日中、**かかりつけ患者の受け入れ**をする

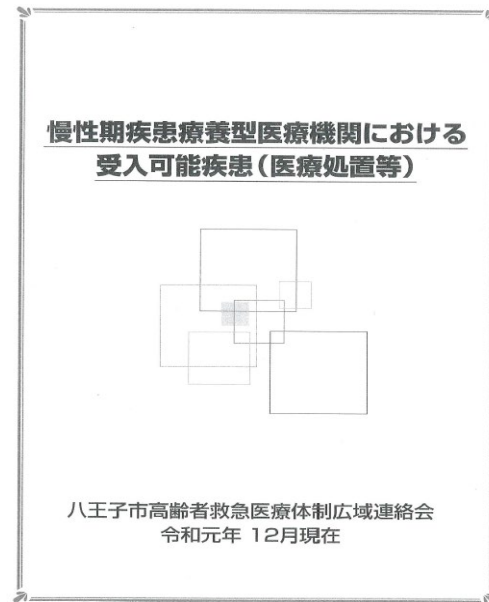
市役所

介護認定のスピード化、代理申請の周知
地域包括支援センター、民生委員による高齢者の健康状態の把握

4. 対応策の展開（成果物）

慢性期疾患療養型医療機関における受け入れ可能疾患

どのような疾患、処置の患者の受け入れが可能か？



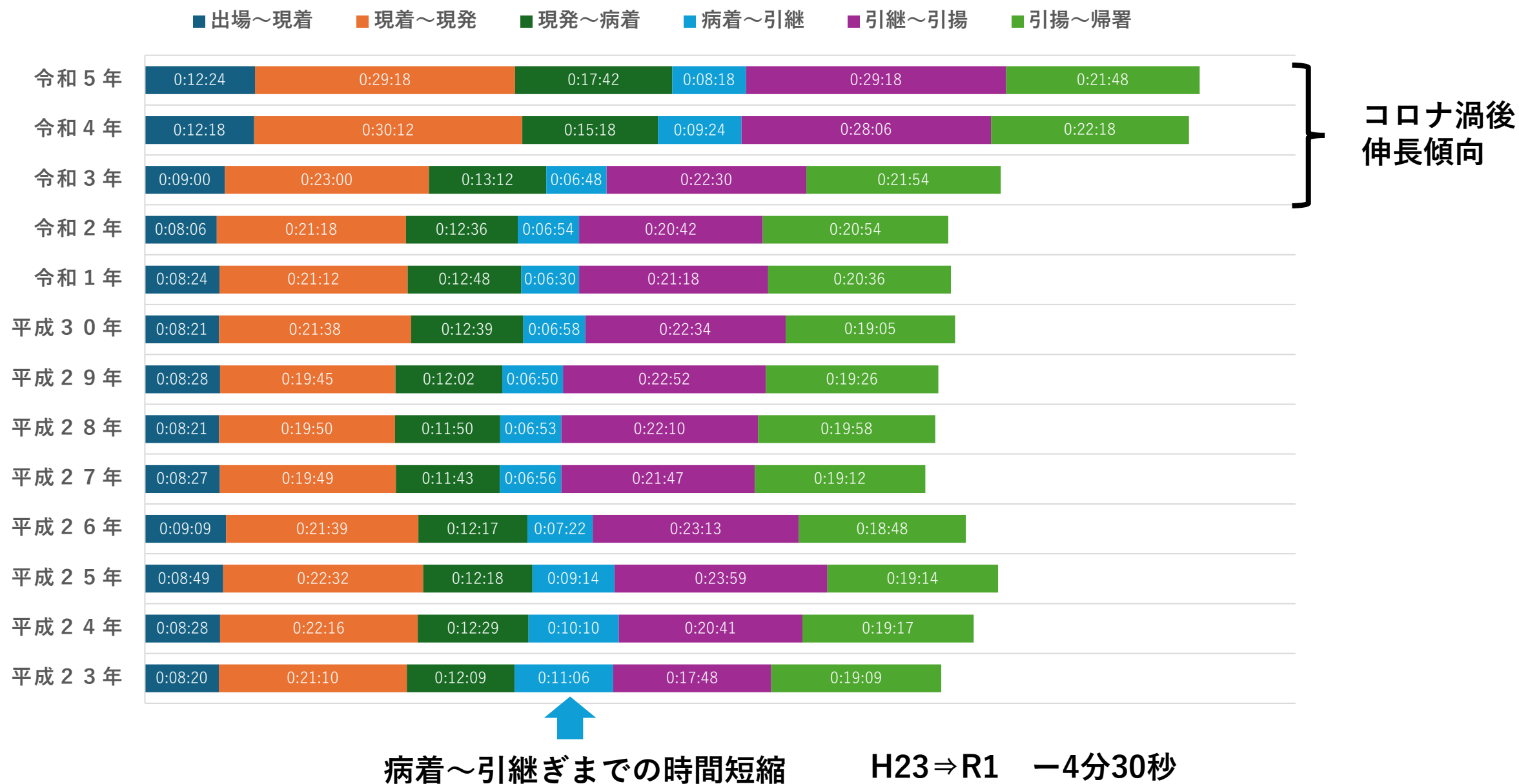
令和7年12月～
後方病院の空床情報の共有化開始

慢性期疾患療養型医療機関(病棟)における受け入れ可能疾患(医療処置等)一覧表

八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会

慢性期疾患 療養型医療機関 受け入れ可能な疾患 (医療処置等)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		永生病院	恩方病院	三愛病院	城山病院	仁和総合病院	聖パウロ病院	相武病院	八王子北部病院	平川病院	真宮病院	みなみ野病院	南八王子病院	駿北病院
1	人工呼吸器	△	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×
2	人工透析	×	×	×	×	×	×	○	×	△	×	×	△	×
3	高カロリー輸液(TPN)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	気管切開	○	○	○	○	○	×	○	○	○	△	○	○	○
5	COPDなどの呼吸不全	○	○	○	○	×	○	○	○	○	△	○	○	○
6	ALSなどの神経疾患	○	△	△	○	△	○	○	△	○	×	△	○	×～△
7	鼻腔栄養	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	胃ろう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	腸ろう	○	×	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○
10	バルーンカテーテル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	人工肛門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	酸素吸入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	褥瘡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	多剤耐性菌	○	△	△	○	△	○	×	○	△	△	△	○	△
15	意識障害	重度	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
		重度以外	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
16	嚥下障害	○	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
17	誤嚥性肺炎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	腰椎圧迫骨折	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	脱水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	尿路感染	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	脊髄損傷	○	△	○	○	△	○	○	○	△	×	○	○	△
22	失語症	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	悪性疾患合併	○	○	○	○	○	△	○	○	○	△	○	△	○
24	末期がん	○	○	○	○	○	△	○	○	○	△	○	○	○
25	精神疾患	重度	△	△	×	△	×	△	×	×	○	×	×	×
		重度以外	△	○	△	△	×	○	○	×	○	×	△	×
26	認知症	重度	○	○	△	△	△	○	○	○	○	×	△～○	×
		重度以外	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	△～○	×
27	徘徊	○	×	△	×	×	○～△	×	○	○	×	△	×	×
28	終末期患者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
29	二次救急からの患者受け入れ	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
30	三次救急からの患者受け入れ	○	△	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○
31	インフルエンザ患者の受け入れ	○	△	△	○	△	△	×	×	○	×	○	×	○
ページ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13

5. 連携の成果



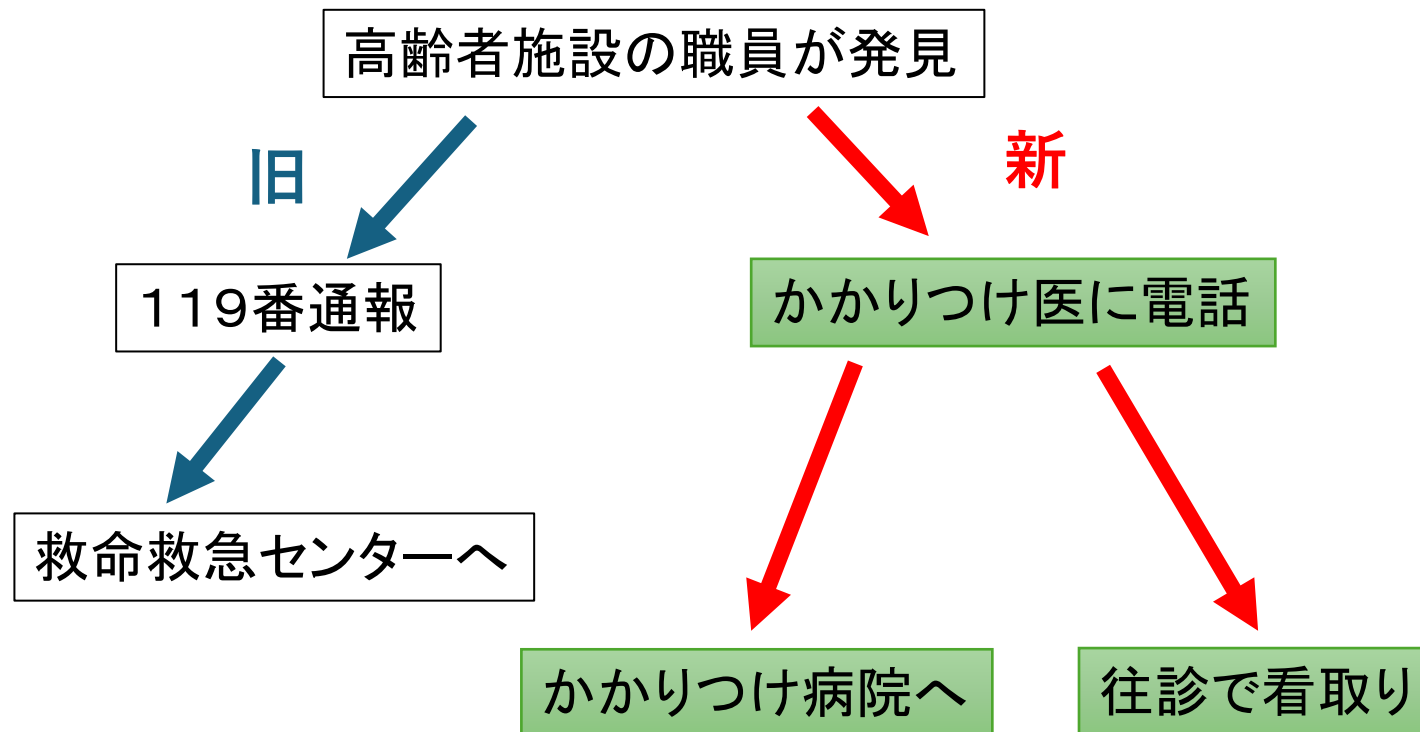
5. 連携の成果

東京医科大学八王子医療センター救命救急センター

平成22年 305件

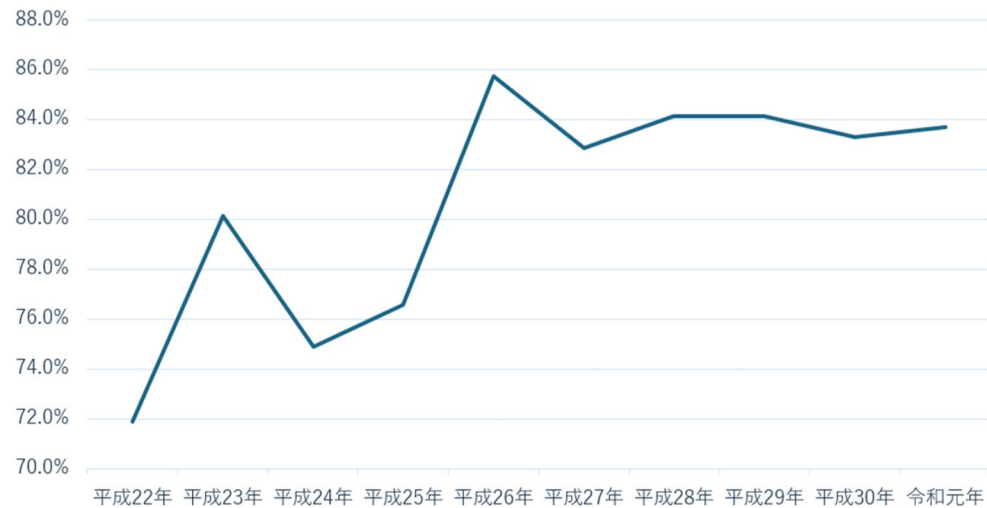


平成26年 209件



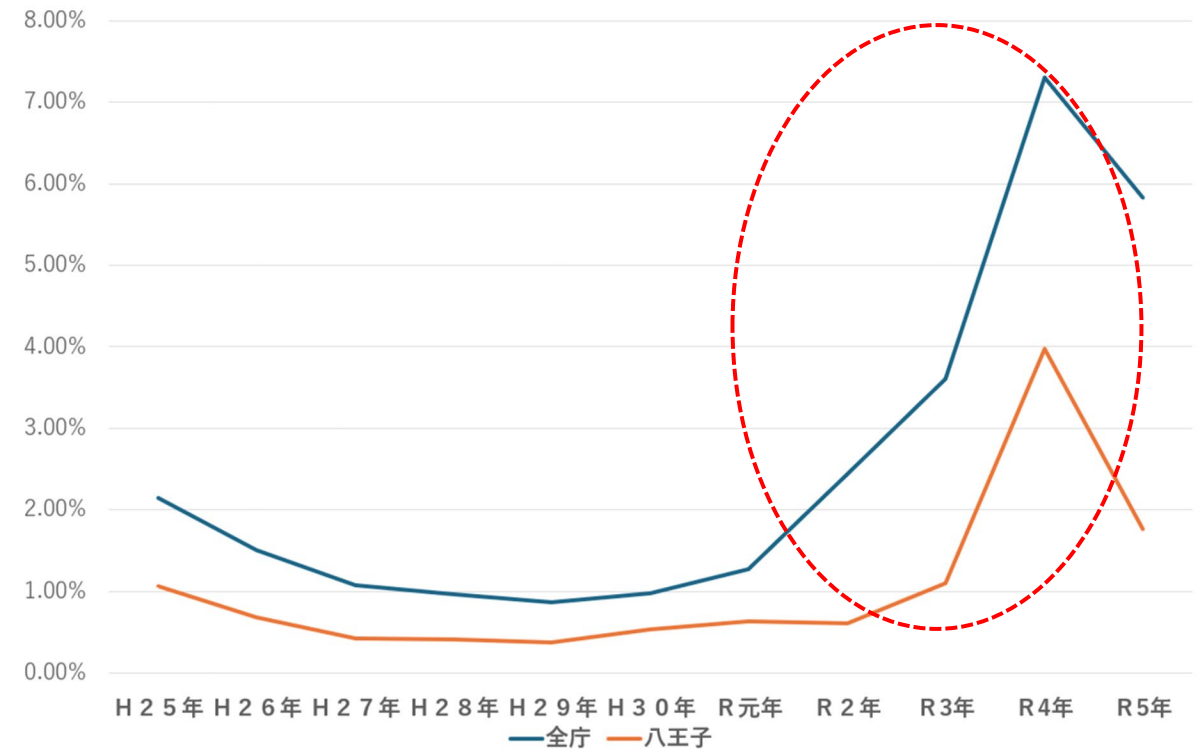
5. 連携の成果

高齢傷病者の市内収容率の推移



65歳以上 八王子市内収容率 平成22年と令和1年の比較
71.9% → 83.7%

搬送困難事例 全庁と八王子の比較



コロナ渦の時期も含め低く推移

6. まとめ

八高連の本質と効果

オール八王子での継続的な水平な議論による
いわゆる
「腹の見える連携」の実現



在宅・施設→急性期病院への円滑な搬送

急性期病院→慢性期病院との連携強化

高齢傷病者の市内収容率の向上

慢性期病院の救急車の受け入れ数増加